



長野市民病院
Nagano Municipal Hospital

長野市民病院広報誌

第26号

平成19年10月1日

あした元気になあれ

長野市民病院 の理念

1. 命のいとおしさを大切に、人間味あふれる医療を提供します
2. 医療水準の向上に努め、高度で良質、安全な医療を提供します
3. 個人の人権と意思を尊重し、情報の開示、説明と同意を基本とする医療を提供します
4. 地域の保健、医療、福祉機関等との機能分担に配慮し、円滑な連携を図ります

地域がん診療連携拠点病院

病院機能評価認定病院

臨床研修病院



(講師：森先生)



(竹前病院長あいさつ)



(講師：佐伯先生)



(講師：関野看護師)

第4回 長野市民病院 市民健康講座

若里市民文化ホールにて開催

去る9月1日(土)、若里市民文化ホールにて、第4回長野市民病院市民健康講座を開催いたしました。

今回は、平成19年1月にがん診療連携拠点病院の指定を受けてから2度目となる開催で、「女性のがん」をテーマに講演会を行いました。当日は、約200名の方にご参加いただきました。

第1部では、「ちょっと知りたい外来化学療法」と題して、当院外来化学療法センターの関野奈穂看護師による講演があり、日頃あまり耳にすることが少ない治療である「外来化学療法」の治療方法や目的、当院の外来化学療法現在の経過や治療の内容等について紹介がありました。また、患者さまとご家族の方が安心して外来化学療法の治療を受けるためには、同センターと他部署との連携や、患者さまやご家族の理解が非常に重要であるという説明がありました。

第2部では、「子宮頸癌とパピロームウイルス」と題して、当院婦人科統轄科長の森篤医師の講演がありました。子宮頸癌は近年若年者において発生率が高いことがわかってきており、その発生過程や診断について詳しく説明がありました。

HPV(ヒトパピローマウイルス)は異形上皮のほぼ100%、子宮頸癌の90%に存在が確認されており、その他さまざまな免疫学、分子生物



(座長：長谷部先生)

的根拠ともなっています。子宮頸管上皮へのHPVの感染により、細胞増殖を抑えている蛋白質P16が不活化し、感染した細胞の異常増殖による持続感染が細胞を癌化するため、子宮頸癌を起こすとされているそうです。

しかし、HPVはありふれたもので、性的に大人になれば多くの女性が感染するが、感染してもほとんどの女性(90%)でHPVが消えます。また、HPVは性行動や感染時期の指標ではなく、現在のパートナーが信頼できないことを意味することではないし、子宮頸癌はありふれたウイルスの非常にまれな合併症と考えるべきであると説明がありました。

最後に子宮頸癌の最新治療の概要や、若年化の傾向にあるこの病気の早期発見のため、若いうちから定期健診を行っていく重要性を強調されました。



(座長：平井先生)

ました。

第3部では、「もつともつと乳がんを知ろう」と題して、埼玉医科大学国際医療センター乳腺腫瘍科教授佐伯俊昭先生の講演がありました。

当日の講演の内容は「乳がんはどうしてできるのか?」「なりやすい人はどんな人か?」というような素朴な疑問から、「乳がんはどうやって見つけるのか?」「どうやって治せばいいのか?」など、聴講された方の関心のある話題をわかりやすい表現を用いてご説明いただきました。

近年日本において乳がんは、罹患率・死亡率とも増加している病気でありますが、その主な原因として、①初産年齢が高いこと、②出産歴がないこと、③乳がん検診受診歴がないこと、④運動量が少ないことなどが挙げられるそうです。

次に乳がんの治療について、治療



(座長：西村先生)

は大きく分けて手術・化学療法・放射線治療・ホルモン療法があること、また手術は「がんをひとつの塊として取る時代から縮小手術への過程の時代」へと変わってきており、①乳房切除術から乳房温存術へ、②腋窩リンパ節郭清からセンチネルリンパ節生検へと変わってきていることなどをご説明いただきました。

その後、再発予防の治療(術後補助療法)の役目、乳がん術後化学療法等についての具体的なお話もいただきました。

当日会場でご協力いただきましたアンケートでは、今回の講演内容について多数のご要望をいただきました。今後この市民健康講座を継続し、地域の皆様へ保健医療に関する情報提供を行うとともに、がん診療連携拠点病院としての責務を果たしてまいります。

市民に好評な病院ギャラリー

平成19年7月より、病院本館と新しくオープン予定の新南館をつなぐ1階連絡通路(ホスピタルモール)を、「展示ギャラリー」として無料で一般の方にお貸ししております。このように本格的な展示ギャラリーのある病院は市内では珍しく、患者様からも大変ご好評をいただいております。写真、絵画、造花、木彫りなど、病院にふさわしい展示であれば特に内容は問いません(営業を目的とされるものを除きます)。詳しくは総務人事課(☎295-1199 内線4401)までお問い合わせください。



出前講座

長野市民病院では、地域の方々と
の交流および保健衛生の啓発活動の
一環として当院の職員による出前講
座を企画し、行っております。
皆さまが聞きたい、知りたいと思
われる内容の講座についてご相談く
ださい。講師が皆さまの元に伺いま
す。

出前講座のお申し込み方法

出前講座の計画

※講座のご案内より、ご希望の講座
を選択してください。
(なるべく5人以上のグループで
お願いいたします)

お申し込み

※ご希望の日時、講座名、開催場
所、参加人数、グループの代表
者名を下記までご連絡ください。
(希望される日の3ヶ月前までに
お願いいたします)

<お申し込み・お問い合わせ先>

電話 026(295)1611
FAX 026(295)1152
担当/看護師長 五十嵐由江

ご連絡

*担当講師と日時を調整し、代表
者へご連絡いたします。
*開催日の前日に確認の電話をお
かけいたします。

出前講座の開催

講座のご案内

No	講 座 名	講 師	
1	かかりつけ医（ホームドクター）はおもちですか？ （家族の健康管理はホームドクターにお願いしましょう）	看護師	五十嵐由江
2	セカンドオピニオンについて（納得した治療をうけましょう）	看護師	五十嵐由江
3	介護保険制度のしくみと内容（ご利用のための手続き方法）	看護師	五十嵐由江
4	家庭介護に役立つ技術 （安全で安楽な体の向きの換え方、移動の方法）【実技】	看護師	小澤彩子
5	家庭介護に役立つ技術 （衣服の着脱、安楽な姿勢の保ち方）【実技】		
6	家庭介護に役立つ技術 （排泄の援助/オムツ交換、尿器の使い方）【実技】		
7	家庭介護に役立つ技術 （清潔を保つために/寝たままできる洗髪、口腔内のケア）【実技】		
8	スキンケア（床ずれ予防）	看護師	清水徳子 （皮膚・排泄ケア認定看護師）
9	施設（保育・介護・診療所・病院など）における感染対策	看護師	正村睦子 （感染管理認定看護師）
10	家庭における感染対策（大切な家族を感染症から守るために）		
11	長生きするための呼吸体操 【実技】	看護師	内藤郁子・中川茂美 （呼吸ケア研究会代表）
12	看護師になるための進路指導	看護師	日野谷信子
13	更年期を快適に過ごしましょう	看護師	吉澤真寿美
14	ガンのストレスとうまく付き合うには	看護師	横川史穂子 （緩和ケア認定看護師）
15	くすりのイロハ	薬剤師	代表 斉藤和彦
16	臨床検査とは？	臨床検査技師	代表 亀子光明
17	メタボリック・シンドロームとは？	臨床検査技師	代表 亀子光明
18	怖いものなの？放射線	診療放射線技師	鈴木 隆
19	喘息患者様と家族による呼吸介助法	理学療法士	鏑木 武
20	転倒予防について	理学療法士	代表 鏑木 武
21	ウォーキング（靴の選び方、歩き方など）	理学療法士	島田武仁
22	肩こり・腰痛予防のストレッチ	理学療法士	井上正徳
23	誤嚥予防の方法	言語聴覚士	小澤智子
24	生活を通してのリハビリテーション	作業療法士	横前洋行
25	食生活を見直そう「自分に合った食事とは」	管理栄養士	春原ゆかり
26	病院職員を紹介しますーこんな仕事をしていますー	看護師・薬剤師・検査技師・ 診療放射線技師・管理栄養士・理学療法士	

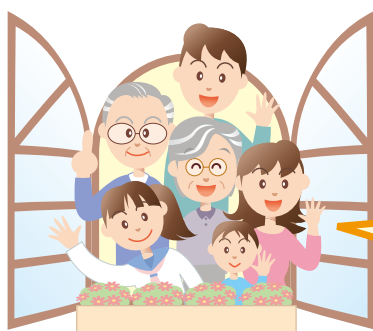
※ 講座の内容・参加希望人数・開催場所・開催日時についてご相談いたします。
※ 5人以上のグループでお申し込みください。
※ 講師料はいただきません。
※ 講座時間は約60分（実技を行うものについてはおおよそ90分）を予定しています。
※ 26番の講座については小中高校対象です。

<お申し込み・お問い合わせ先>

長野市民病院 地域医療連携室

電話 026(295)1611(直通) FAX 026(295)1152

担当/看護師長 五十嵐由江





「心房細動について」

循環器科科長 笠井俊夫

心臓は1分間に70回程度のポンプ活動を規則的に行っています。これは心臓に元々存在するペースメーカーが、規則的な電気信号を心臓のポンプに送っているためです。心房細動ではこのような正常の電気現象が乱されて、心臓の一部(心房)で電気信号が絶えまなく不規則にぐるぐる回っている状態になります。そのため、ポンプの収縮は全く不規則になり、脈

拍数は普段より多くなること(頻脈)といえます。す)が一般的です。この不整脈は心臓のポンプ機能には直接大きな影響を与えませんので、よほど心臓が弱っている人以外は心房細動になったからといって、すぐに命に関わるようなことはありません。心房細動は年齢を重ねるに連れ増加し、70歳台では5%、80歳以上では10%以上が心房細動であるといわれています。決してめずらしい不整脈ではありません。

め、自覚症状の強い人が多いようです。しかし、発作頻度が増え、心房細動が慢性的になると症状がなくなってしまうこともあります。

治療目標のひとつは自覚症状を改善することです。心房細動を停止させて、元の正常なリズムに戻し、それを維持していくことが可能であれば最良です。そのためには、抗不整脈剤という薬剤を用いることが多いです。いくつもある薬剤の中で、その患者さんにあったものを選択して投薬します。しかし、すべての患者さんに薬が効くわけではありません。薬剤無効の場合は正常なリズムに戻すのはあきらめて、頻脈にならないよう、脈拍数がちょうどいい範囲に収まるように薬で調節します。これだけでも、自覚症状は改善することが

ています。

では症状がなければ心房細動は放っておいてよい病気なのでしょうか。それは違います。心房細動を放置することで生じるリスクが2つあります。心房細動は、心不全と脳梗塞という大きな病気の原因となることがあるのです。医師はこのような心房細動に伴うリスクと患者さんの症状を総合的に判断した上で、治療方針をたてています。検診などではじめて心房細動を指摘される患者さんもいます。症状がないからといって放置せず、一度は医師によく御相談ください。

みなさまの声

市民病院では、開院以来、外来・入院の患者さま、お見舞い等の皆さまから様々なご意見ご要望をいただいております。

毎月、貴重な意見を集約して職員に回覧。できるところから改善、検討を加えております。最近お寄せいただいたものの中から選んで紹介します。今後とも叱咤激励をお願いします。

血液検査の結果が素人にでも解りやすいように教えてもらいたい。

血液検査の結果が素人にでも解りやすいように教えてもらいたい。(男性外来患者)

【回答】 血液検査結果の患者様へのご説明につきまして、解りにくいところがありましたことをお詫びいたします。解りにくい点がありましたら、遠慮なく医師にお尋ねいただくか、血液検査項目の意味を簡単に記載したパンフレットを中央処置室に用意しておりますのでご覧ください。また、パンフレットの内容に不明な点がありましたら、中央処置室の臨床検査技師にお尋ねください。

以前から昼食はわたぼうしを利用していました。今回のレストランはレストランとは名ばかりの社員食堂。その上メニューはずつと少なくなり、サービスは悪くなりどうしたことでしょうか。以前と同じレストランとは思えません。せめて以前あったメニューはやってもらいたい。

以前から昼食はわたぼうしを利用していました。今回のレストランはレストランとは名ばかりの社員食堂。その上メニューはずつと少なくなり、サービスは悪くなりどうしたことでしょうか。以前と同じレストランとは思えません。せめて以前あったメニューはやってもらいたい。(女性お見舞い者)

婦人科の医師を増やしてほしい。

患者数の割に少なすぎます。「60分待ち」との表示でしたが、11時30分に受付して、呼ばれたのは3時25分でした。今いる先生も大変だと思えます。昼食をとる時間もないのではないのでしょうか。(女性外来患者)

人間ドックの午後の診断はあまりにも待ち時間が長すぎる。

人間ドックの午後の診断はあまりにも待ち時間が長すぎる。(男性ドック受診者)

【回答】 7月9日から運用を変えて時間短縮を図っているとありますが、今後も随時改善してまいります。医師の体制は当面2名体制となります。健診センター専属医師を確保すべく取り組んでおりますので、ご理解をお願いします。



長野びんずるに 約110名が参加

8月に入ってやっと夏らしい暑さが訪れた今年も、恒例の市民祭「長野びんずる」が8月4日、中央通り一帯で開催されました。

長野びんずるも数えて37回目を迎え、当院からは新人看護師、研修医や、竹前病院長、長谷部副院長、吉澤看護部長など、幹部職員を含めて約110名が参加。

連長の松田医局長、副連長の塩澤事務部長を先頭にびんずる囃子にあわせて踊り続けました。

当日は、日中晴天であったため、気温が高くとても暑く感じましたが、2時間余りの踊りはあっという間に過ぎて、さわやかな満足感がありました。

院内に情報ラウンジを設置 図書コーナーを配備

当院では、エントランスホールを通じて突き当たりに「図書コーナー」や食事スペースなどを備えた「情報ラウンジ」を設置しました。将来的にはパソコンも配備し、インターネット接続も可能にする予定であります。

「情報ラウンジ」には、病棟のラウンジに設置していた「図書コーナー」を移設し、病院ボランティア「はづきの会」の会員が図書の貸し出しなどを行っています。蔵書は約3千冊あり、すべて医師や看護師等の職員、ボランティア「はづきの会」の会員、患者さまから寄贈されたものです。医学書をはじめ文学書、絵本、文庫本、漫画本などが揃っており、外来・入院患者さま、付き添いで来られた方などが有効に利用されています。



平成20年4月からの増床・救急医療の充実に向けて 医師と看護師を募集しています

当院の特徴

『悪性新生物』、『心疾患』、『脳血管疾患』
三大生活習慣病を中心に高度医療を実施
『がん診療連携拠点病院』に指定(H19年1月)

長野市北部地区中核病院
300床の急性期病院
(H20年度以降400床へ増床)

長野市北部地区の
初期救急・二次救急の拠点病院
(救急・重症病棟、ヘリポートあり)

求人内容

救急センター専従・併任医師
小児科医、婦人科医、総合診療医
整形外科医、精神症状緩和担当医師
健康診断医、腎臓内科医
後期研修医

- 福利厚生も整っています
- 託児所有(22:30迄託児可)
- 認定医、専門医等取得の指導・支援体制有
- 学会等にも計画的に参加できます

随時見学可能です。どうぞお気軽にお問合せください
〒381-8551 長野市富竹1333-1 TEL:026-295-1199
(総務課人事担当(内線4400、E-Mail: career@hospital.nagano.nagano.jp)
<http://www.hospital.nagano.nagano.jp/>

当院看護部の目標

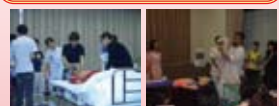
「看護で選ばれる病院」を目指しています

当院看護部の特徴

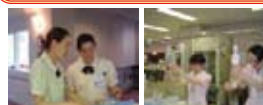
看護配置基準7:1取得済
患者様に手厚い看護と
働きやすい環境を目指します



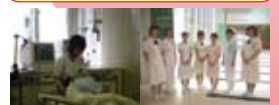
充実した教育研修
院内外の研修・研究会等
計画的に参加できます



プリセプターシップを採用
マンツーマンの指導で
新人・先輩共に育つ風土です



専門性も高められます
認定看護師 4名在職
WOC、緩和ケア2名、感染管理



勤務・福利厚生等

- 勤務形態: 変則3交替制
(8:30-17:15, 12:15-21:00, 20:45-8:45)
- 看護師修学資金制度あり (託児所) (独身者用寮)
- 寮完備。託児所有り
(22:30迄託児可)
- 育児休暇3年迄取得可



院長の宮澤先生は長野市のご出身であり、東京医科大学をご卒業後、同大学内科医局に入局し、都立広尾病院・都立大塚病院で内科医長として15年間にわたり勤務されました。その後、平成7年に長野に戻り、お父様の後を継いで宮沢医院の院長に就任されました。当医院は昭和22年に先代のお父様が開業され、約60年の歴史があります。地域の方々のかかりつけ医として毎日多くの患者さまが来院され、また往診患者さまも多いため、先生はお忙しい毎日を送られています。



平成9年10月に単独型デイケアの認可を受けた際は、新たな取り組みだったため苦労も多かったそうですが、現在では2つのデイサービス施設及びショートステイ施設も併設し、多くの方に利用されています。そのため、看護師、診療放射線技師など70名強という大勢のスタッフで運営されているのも特徴です。

先生のお話を伺っていると、医療に対する非常に熱心なお気持ちと温かい人柄が伝わってきました。医療を通じて人と人とのつながりを持てることが何よりも仕事のやりがいになっているそうで、患者さまとのコミュニケーションを非常に大切にされているという印象を受けました。

また、先生は愛犬「イッサ君」や、日本では珍しいといわれるオウムの「パンチョちゃん」を長年にわたり飼っているそうで、動物に対する愛護の気持ちを話していました。

今後とも当院との病診連携を図り、地域全体での医療への取組みを重要視していきたいと抱負を語られました。

登録医制度による地域医療連携システムが平成15年4月にスタートしてから市民病院へ紹介いただいたり、市民病院から地域の診療所に逆紹介したりするケースが増えています。
なお、登録医の一覧が玄関に掲示されていますので、ご覧下さい。この欄では、日頃お世話になっている登録医の医師を順次紹介してまいります。

登

録

医

紹

介

No.12

職場紹介

リハビリテーション科

科長補佐 鍋木 武

当科は、開院時（1995年6月）に、医師1名、療法士3名で外来棟2階において診療を開始しました。本年4月には南館1階に新築移転し、リハビリ庭園も完成しました。現在のスタッフは医師1名、セラピスト2名、理学療法士（PT）7名、作業療法士（OT）4名、言語聴覚士（ST）2名となり、1日の診療件数は延180件となっています。

各療法の内容は、理学療法では温熱・電気治療や、関節を動かす、筋力をつけ、歩行・階段昇降・床上動作などの獲得を目的とした練習を実施します。作業療法では実際の生活の場面、例えば食事・更衣・トイレなどの動作の練習、手の外科の装具療法・機能訓練を実施しています。言語聴覚療法では話す・聞く・書くなどのコミュニケーション全般に対する練習や援助、食物を安全にのどしく食べられるように摂食の練習を行っています。

また、昨年度から開始した出前講座では、地域の方と一緒に身体を動かす、お話をする機会が持てるよう

になり、健康増進・疾病予防にも貢献できるようになってきました。

なお、現在当科では直接患者様の診察は受けていないので、整形外科、脳神経外科、神経内科などを受診していただき、リハビリテーション科に処方を出していただく手順での診療となっています。



(リハビリテーション科スタッフ)

DPCベンチマーク 分析研修会

診療情報管理課 主査 中村 光男

当院は平成18年7月よりDPC（診断群分類）を導入し、入院医療費が包括支払となり1年を経過しました。全国の急性期病院がDPCに関心を寄せる中、自治体病院では比較的早期にDPC対象病院となった当院の現状と今後の課題について、DPCデータの分析ツールを開発・販売し、400超のクライアントを有する『株式会社メディカルアーキテクツ』の堀宏治氏よりご講演を賜りました。

DPCの特徴は、診断群分類別に全国・自治体・県内それぞれの医療機関と診療内容を比較（ベンチマーク）できるようになった点にあります。ベンチマークでは、当院外科の腹腔鏡手術の実績が全国トップレベルにあり、在院日数短縮にも寄与していることが明らかであり、高度で良質な医療を提供しているとの指摘をいただきました。また、がん診療連携拠点病院としても、その役割を十分担っていることがDPCデータから読み取れるのご指摘もいただきました。今後の課題として、病院経営の分析はもとより、医療の質を分析・評価する必要があるとのこ

とでした。

DPCは日本独自の包括支払方式です。DPC対象病院数が拡大する中、国はDPCの今後の在り方や、さらにはDRG/PPS（1入院包括支払制度）についても検討しています。

当院では、DPCデータを有効に活用し、市民の皆様にも高度で良質かつ安全な医療を提供できるよう努めるとともに、国の医療政策の動向を見極め、迅速な対応を行ってまいります。



がん専門薬剤師研修事業の 「研修施設」に認定されました

長野市民病院は、平成19年7月1日付けで、日本病院薬剤師会による、がん専門薬剤師研修事業の研修施設に認定されました。県内施設での認定は信州大学附属病院、今回認定された当院と長野赤十字病院を併せ3施設となり、全国では73施設が認定されています。

研修は、がん薬物療法認定薬剤師の認定を申請する際の要件の1つであり、がん薬物療法に従事し、5年以上の実務経験がある薬剤師が対象で、研修施設で3年以上がん薬物療

法に従事した場合受講要件は免責となります。研修施設での研修期間は3ヶ月間で、抗がん薬注射剤混合調整、緩和ケアなどの実務実習を行うものです。

当院の薬剤師の中には専門資格を持つ薬剤師として、がん専門薬剤師1名のほか、感染制御専門薬剤師1名、栄養サポートチーム（NST）専門薬剤師1名が在籍しています。

今後とも当院では、1月に厚生労働省から指定された「地域がん診療連携拠点病院」の指定と共に今回の認定を踏まえ、関係機関との緊密な連携を図りながら、地域のがん医療における中核病院としての一層の機能充実に努めてまいります。

人間ドックの定員枠を 増員いたしました

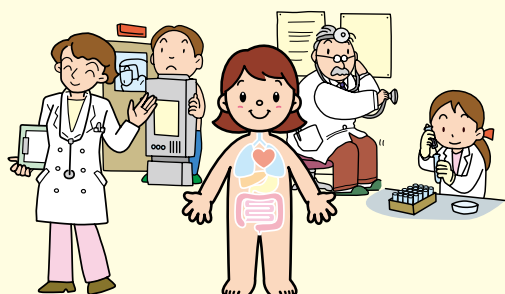
平成19年4月に健診センターが新病棟にオープンしたことに伴い、平成19年6月より人間ドックの定員枠を1日20名に増員いたしました。

なお、平成20年1月～3月につきましては受診枠に空きがございますので、お気軽にお申し込みください。

申込方法：お電話もしくは当院窓口にて承ります。

電話番号：026 - 295 - 1141
(予約受付直通)

受付時間：平日 9:00～17:00



外来診療担当表は、10月1日現在で作成されております。担当医師が変更となっている場合もございますので、お問合せください。

外 来 診 療 担 当 日 一 覧

平成19年10月1日現在
長野市民病院
○印は初診担当です

	月	火	水	木	金	専 門
内 科 (呼吸器科) (消化器科) (循環器科)	○武藤 英知 ○吉池 文明 平井 一也 越知 泰英 立岩 伸之 阿部 直之 ○西井 裕	須藤 桃子 吉池 文明 ○山崎 誓一 — ○丸山 隆久 ○彦坂 吉興 掛川 哲司	山崎 誓一 西井 裕 平井 一也 ○越知 泰英 丸山 隆久 ○笠井 俊夫 ○長谷部 修	武藤 英知 ○町田香津子 山崎 誓一 ○立岩 伸之 丸山 隆久 吉池 文明 ○掛川 哲司	彦坂 吉興 ○阿部 直之 ○平井 一也 武藤 英知 ○須藤 桃子 笠井 俊夫 長谷部 修	平井一也 (呼吸器) 長谷部修 (消化器・内視鏡) 西井 裕 (糖尿病・内分泌代謝疾患) 丸山隆久 (循環器) 笠井俊夫 (循環器) 越知泰英 (消化器・内視鏡) 掛川哲司 (腎臓) 吉池文明 (呼吸器) 山崎誓一 (呼吸器) 立岩伸之 (消化器・内視鏡) 武藤英知 (消化器・肝臓) 阿部直之 (循環器) 須藤桃子 (消化器) 彦坂吉興 (消化器)
小 児 科	池野 一秀 青沼 (AM10時迄) 浅岡 麻里	池野 一秀 — 青沼架佐賜	青沼架佐賜 — 池野 一秀	池野 一秀 — 青沼 (第3は三上)	青沼架佐賜 — 池野 一秀	青沼架佐賜 (発達・神経・循環器・心身症) 池野一秀 (免疫・アレルギー)
午前10時以降 午後 専門外来 (予約制)	乳児一般健康診査	小児心療内科外来 免疫・アレルギー	小児心療内科外来	免疫・アレルギー 循環器外来	神経外来 小児心療内科外来	
外 科	沖田 浩一 ○関野 康 —	佐近 雅宏 ○関 仁誌 草間 啓	関野 康 宗像 康博 ○沖田 浩一	— ○佐近 雅宏 —	○草間 啓 関 仁誌 ○濱田 浄司	宗像康博 (消化器・胃大腸) 関 仁誌 (消化器・肝臓・胆道・脾臓) 草間 啓 (消化器) 沖田浩一 (消化器) 佐近雅宏 (消化器) 関野 康 (外科) 濱田浄司 (外科)
整 形 外 科	松田 智 南澤 育雄 ○中村 功 ○藤澤多佳子 ○山田 誠司	(藤澤多佳子) 竹山 和昭 ○岡本 正則 ○松田 智 ○南澤 育雄	(藤澤多佳子) 竹山 和昭 中村 功 ○山田 誠司 ○南澤 育雄	○松田 智 岡本 正則 中村 功 (午後) ○藤澤多佳子 ○竹山 和昭	— 南澤 育雄 ○中村 功 山田 誠司 ○竹山 和昭	松田 智 (上肢・末梢神経) 南澤育雄 (骨折・リウマチ性疾患・股関節痛) 竹山和昭 (脊椎・関節疾患) 山田誠司 (関節疾患) 中村 功 (脊椎) 岡本正則 (整形外科)
形 成 外 科	○滝 建志 池上みのり	○信大医師 池上みのり	○滝 建志 池上みのり	滝 建志 ○池上みのり	○滝 建志 池上みのり	滝 建志 (形成外科) 池上みのり (形成外科)
脳神経外科	○大屋 房一 柿澤 幸成	○柿澤 幸成 花岡 吉亀	○大屋 房一 竹前 紀樹	○柿澤 幸成 大屋 房一	○竹前／柿澤 (交替制)	竹前紀樹 (脳腫瘍・脳血管障害) 大屋房一 (脳血管障害・脳血管内手術) 柿澤幸成 (脳腫瘍・脳血管障害) 花岡吉亀 (脳神経外科)
皮 膚 科	齊木 實	齊木 實	齊木 實	齊木 實	齊木 實	齊木 實 (皮膚科)
泌 尿 器 科	上野 学 岡根谷利一	上垣内崇行 中沢 昌樹	上垣内崇行 岡根谷利一	上野 学 中沢 昌樹	中 沢／上 野 (交替制) 上垣内崇行	岡根谷利一 (悪性腫瘍・前立腺肥大) 中沢昌樹 (神経因性膀胱) 上垣内崇行 (尿路結石・前立腺肥大) 上野 学 (泌尿器科)
眼 科	風間 淳 —	風間 淳 信大医師	風間 淳 —	風間 淳 信大医師	風間 淳 —	風間 淳 (眼科)
耳鼻いんこう科	野村 康	野村 康	休 診	野村 康	野村 康	野村 康 (耳鼻咽喉科)
放 射 線 科	休 診	橋田 巖	休 診	橋田 巖	橋田 巖	今井 迅 (画像診断) 橋田 巖 (放射線治療)
歯 科 ・ 口 腔 外 科	○楠 公孝 田村 稔	○田村 稔 楠 公孝	○楠 公孝 田村 稔	○信大医師 —	○田村 稔 楠 公孝	田村 稔 (口腔腫瘍) 楠 公孝 (口腔外科)
神 経 内 科	○山本 寛二 ○町田香津子	山本 寛二	○町田香津子	○山本 寛二	山本 寛二	山本寛二 (神経内科) 町田香津子 (神経内科)
膠原病外来	—	—	(池田三知代)	—	—	
呼吸器外科	齋藤 学	西村 秀紀	齋藤 学	西村 秀紀	休 診	西村秀紀 (呼吸器・乳腺・甲状腺) 齋藤 学 (呼吸器)
婦 人 科	森／信大医師 (交替制) ○西澤千津恵	○信大医師 —	○森 篤 西澤千津恵	○森 篤 西澤千津恵	森 篤 ○西澤千津恵	森 篤 (悪性腫瘍・不妊症) 西澤千津恵 (婦人科)

長野市民病院へのお問い合わせ

〒381-8551 長野市富竹1333-1
TEL 026-295-1199 FAX 026-295-1148
ホームページ <http://www.hospital.nagano.nagano.jp/>

財団法人 長野市保健医療公社
長野市民病院

■発行人：竹前紀樹
■編集：長野市民病院
広報誌編集委員会

医師人事異動

***退職・6月30日付**
整形外科医長 藍葉 宗一郎
消化器科医師 丸山 雅史
(飯山赤十字病院へ)

***新任・7月1日付**
整形外科科長 中村 功
整形外科医師 岡本 正則
(信州大学医学部より)

***退職・8月31日付**
脳神経外科医師 原 洋助
(信州大学医学部へ)

***新任・9月1日付**
脳神経外科医師 花岡 吉亀
(信州大学医学部より)

***退職・9月30日付**
内科医師 池田 三知代
神経内科医師 町田 香津子
(信州大学医学部より)

***新任・10月1日付**
外科医師 濱田 浄司
(富山大学医学部より)